

### ③要介護度の悪化プロセスには特徴がある

「要支援」では「立ち上がり」「片足での立位保持」等が、

「要介護1」では「歩行」「洗身」等が、

「要介護2」では「上衣の着脱」等が、

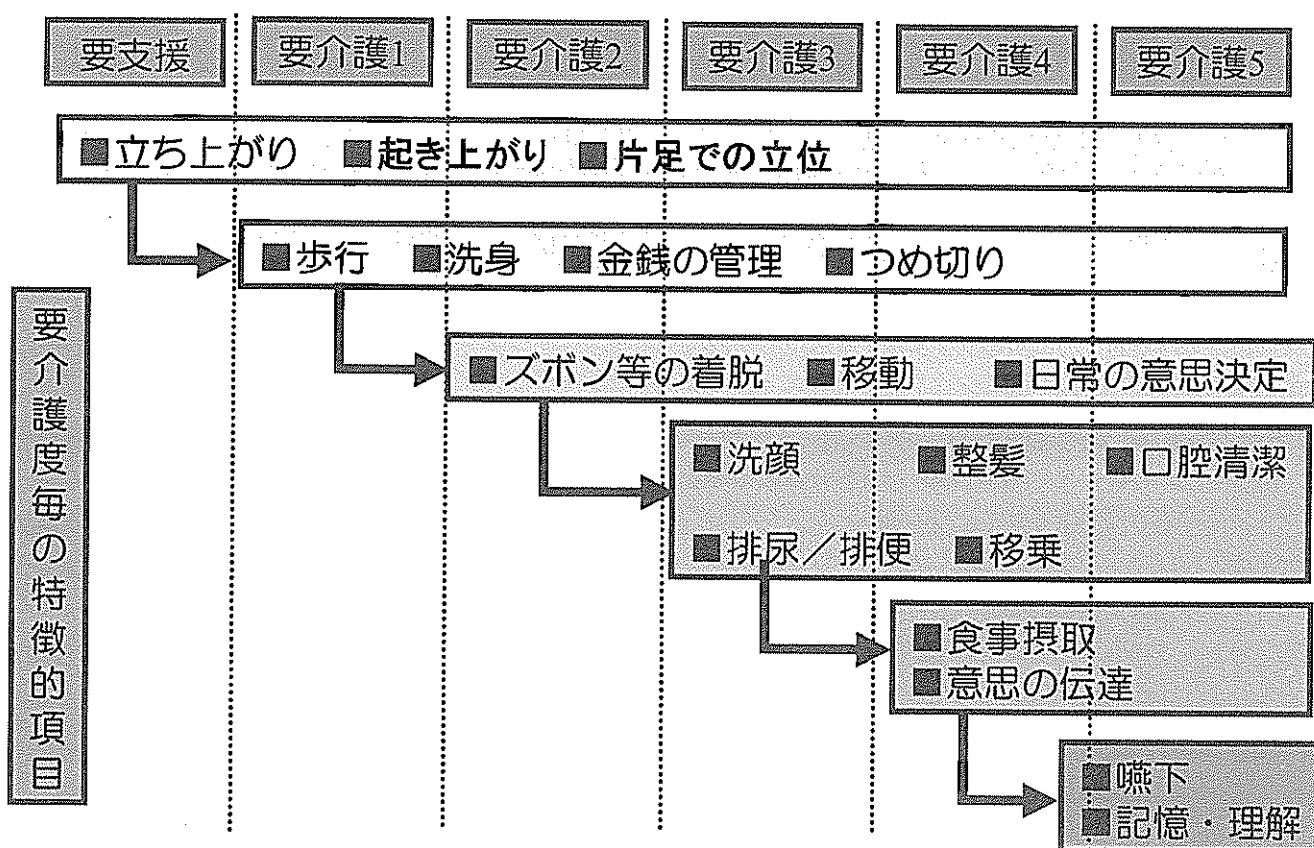
「要介護3」では「移乗」「口腔清潔」等が、

「要介護4」では「食事摂取」等が、

「要介護5」では「嚥下」「場所の理解」等が特徴的。

これらの機能が段階的に障害されていく。

#### 高齢者の機能低下の流れ（イメージ図）



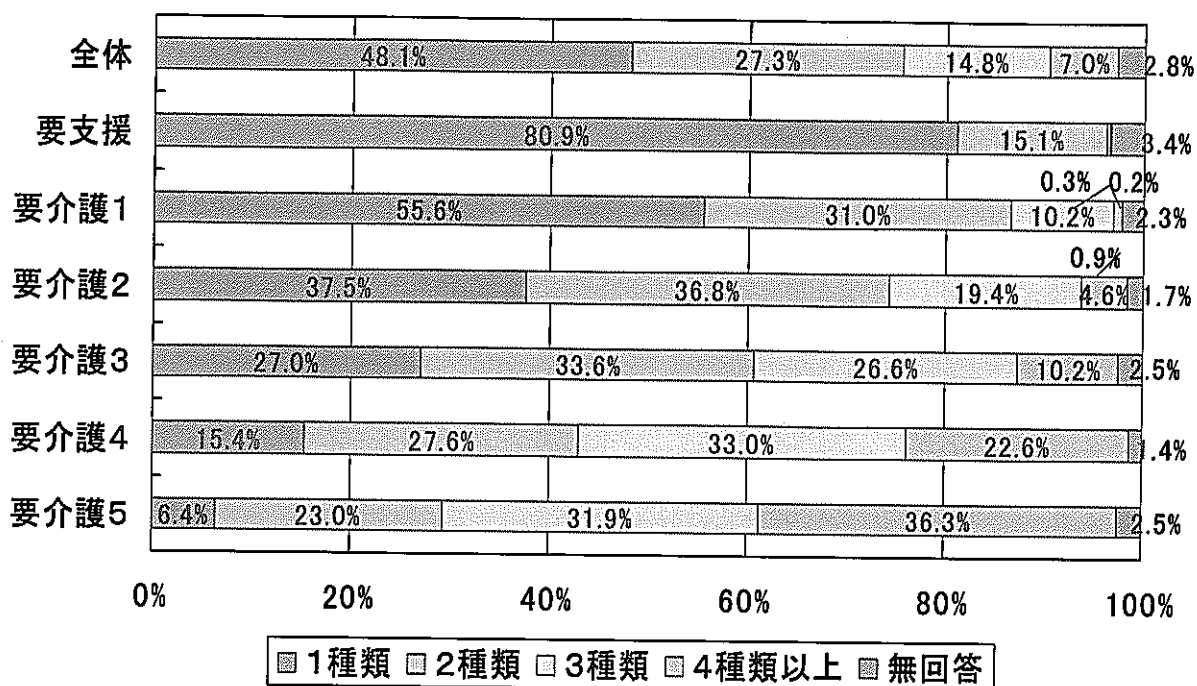
## 2. 現行サービスの課題

### 軽度者に対するサービスの実態

- : ケアマネジメントの問題－補完型単品プラン
- : 訪問介護の問題－生活支援（家事援助）中心
- : 通所サービスの問題－集団ケア
- : 福祉用具の問題－状態像との不適合

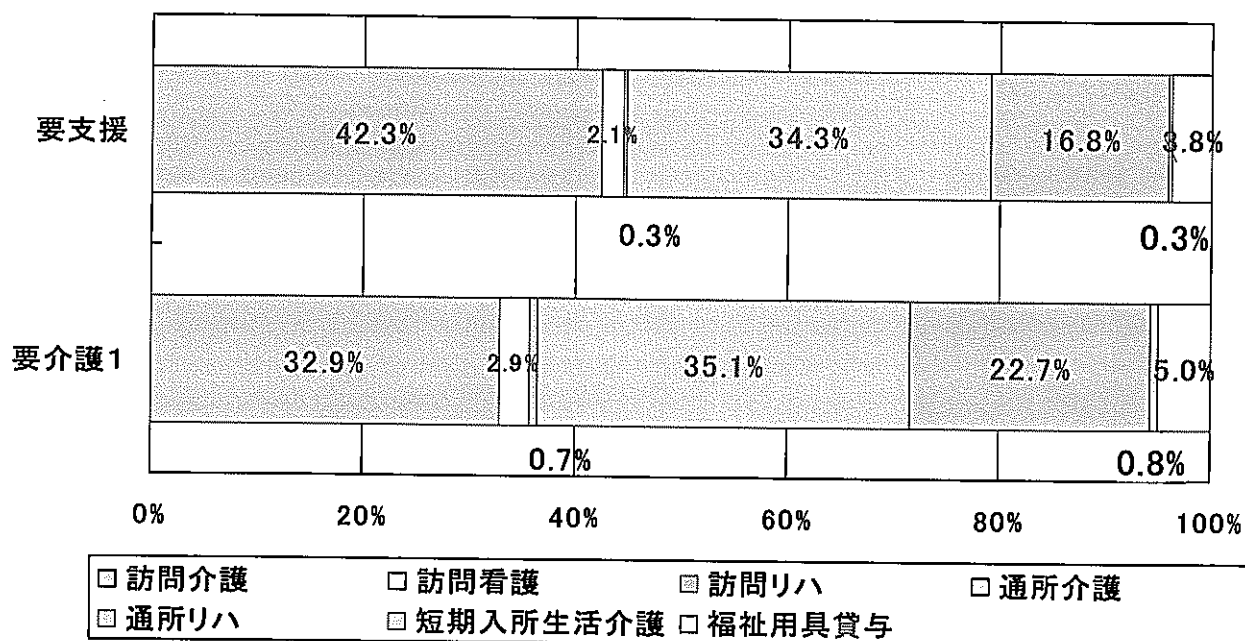
総じて、介護予防・重度化防止の実効が上がっていない

## 居宅サービスにおけるサービス利用 ケアプラン上のサービス種類数比較



※出典:「居宅介護支援事業所及び介護支援専門員業務の実態に関する調査」(平成15年株式会社三菱総合研究所;速報値)

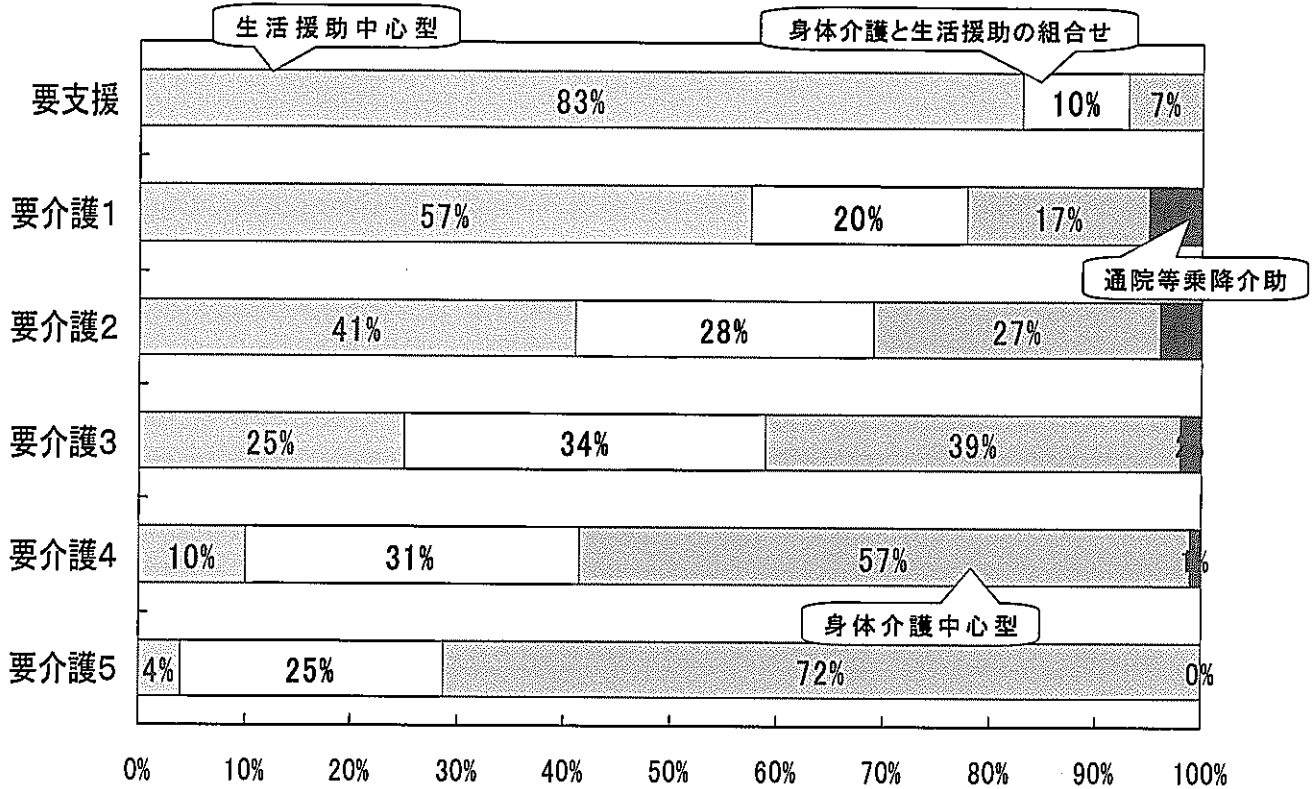
## 居宅サービスにおけるサービス利用 サービス構成比較 (件数ベース)



※出典:「居宅介護支援事業及び介護支援専門員業務の実態に関する調査」(平成13年長寿開発センター)

# 要介護度別にみた訪問介護のサービス内容

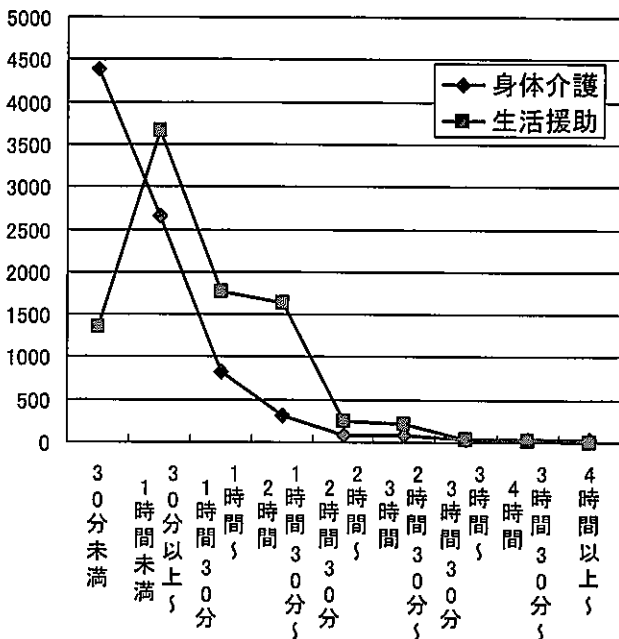
【要介護度別にみた訪問介護における請求回数内訳】



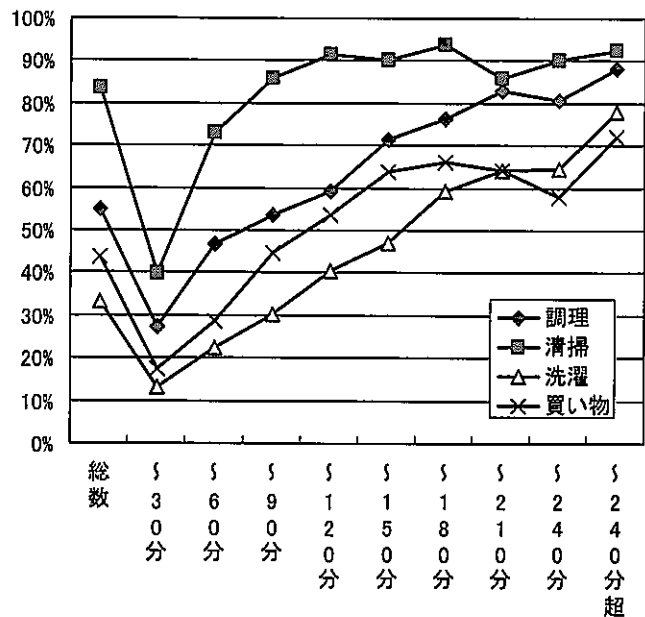
## 訪問介護（生活援助）のサービス内容

○訪問1回あたりの平均滞在時間

(回数) 訪問介護区分別時間別請求回数



○訪問介護（生活援助）の行為実施割合

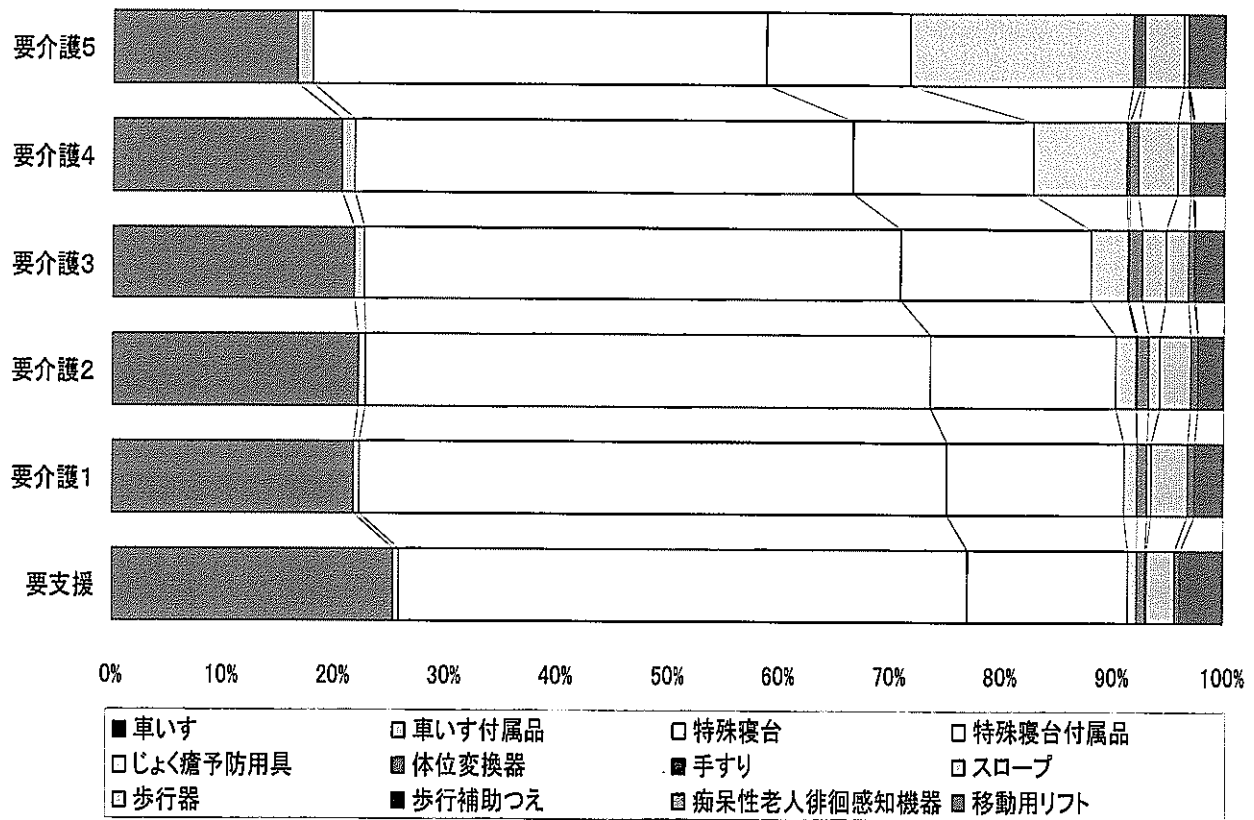


出典：介護給付費実態調査(平成15年10月審査分)

出典：介護サービス施設・事業所調査(平成13年10月)

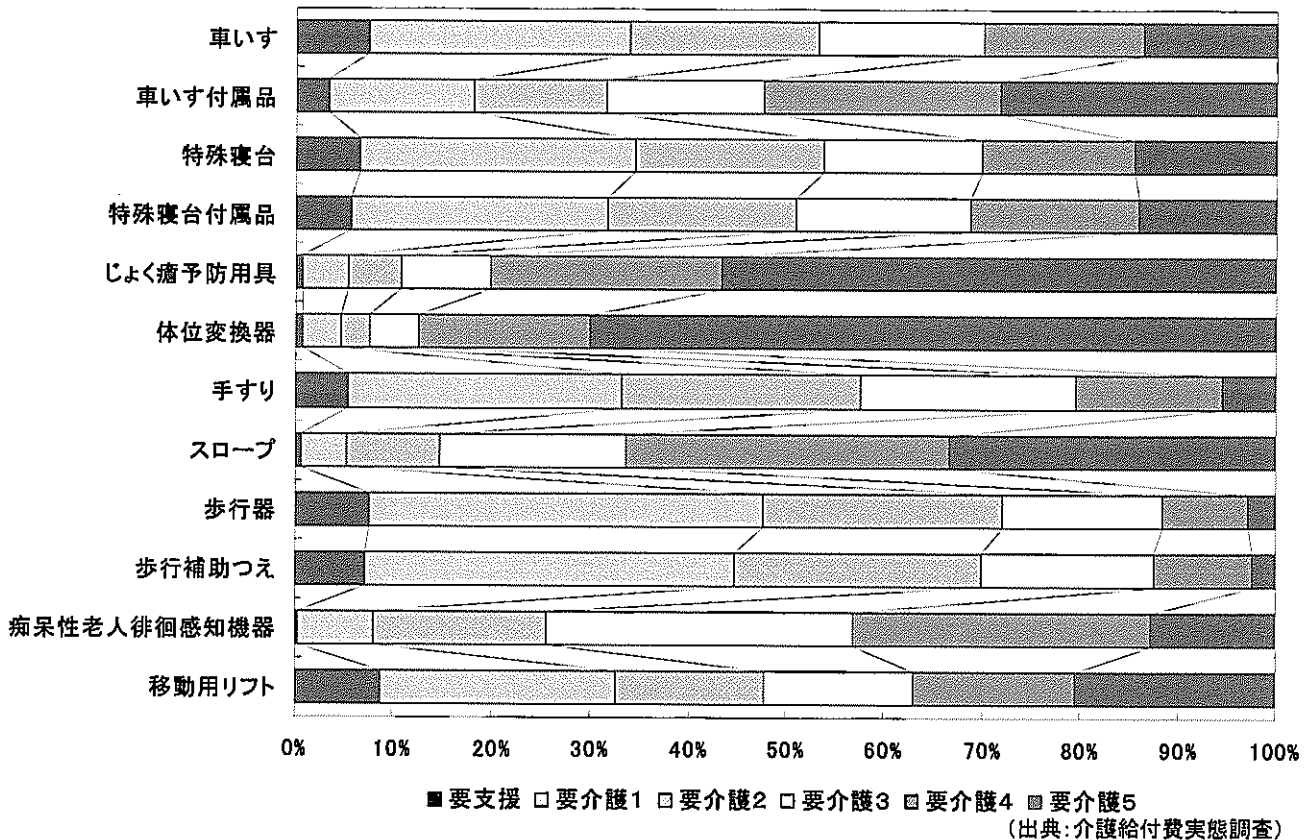
# 福祉用具貸与費の要介護度別利用種目割合

(平成15年10月サービス分)



# 福祉用具貸与費の種目別要介護度割合

(平成15年10月サービス分)



(出典:介護給付費実態調査)